

# 人に個性が

「景観」とは難しい言葉ですが、まちのおしゃれ・みだしなみと考えてください。人は場所や目的に応じて、自分の個性にあわせたおしゃれを楽しめます。同じように、地域にもそれぞれの個性があります。

その個性を生かし、「らしさ」にこだわりながら、調和を考えたまちづくりをすすめること、これが「まちのおしゃれ・みだしなみ」ではないでしょうか。

県では、「くまもどらしきまちにするために、同じように、地域にもそれぞれの個性があります。

あるように、まちや地域にもあるように、まちや地域にも

「熊本県景観条例」を制定し、いろいろな取組みを進めています。

県民の皆様に、ある一定行為についての届出や、この景観条例は県レベルでは、滋賀県・兵庫県について三番目にできましたが、

ふさわしい

いろいろと協力いただく内容になつておりますが、一人一人の「おしゃれ・みだしなみ」に対する配慮が最も必要なことではないでしょうか。

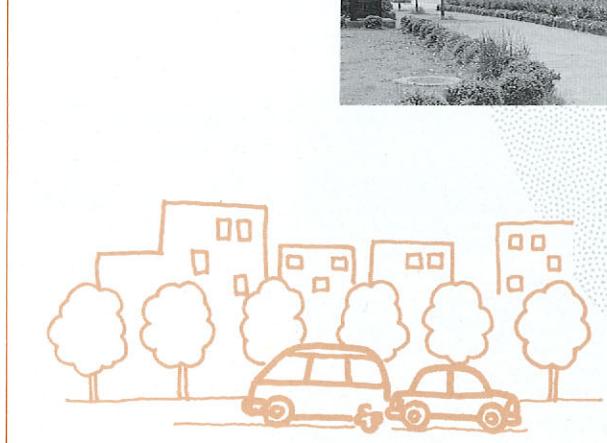
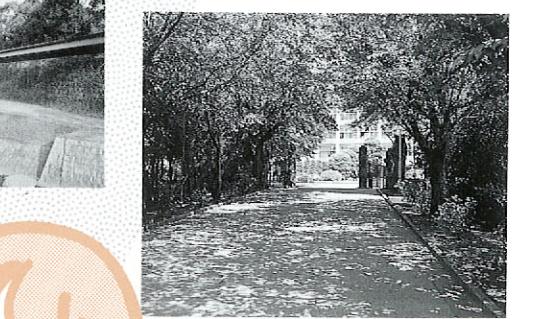
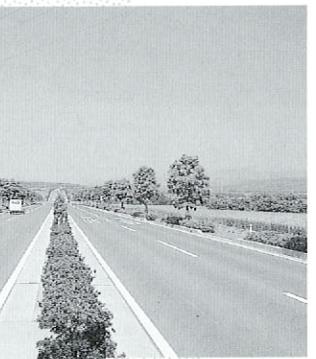
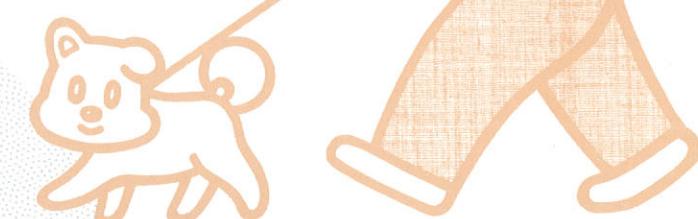
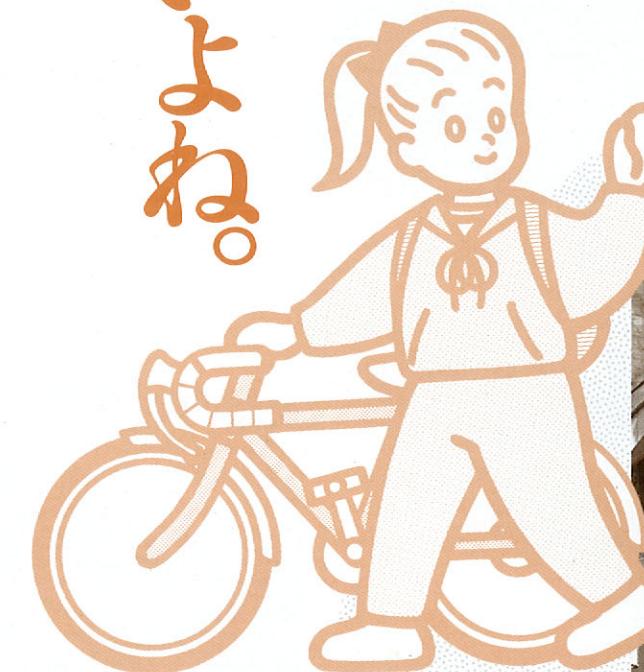
この景観条例は県レベルでは、滋賀県・兵庫県について三番目にできましたが、

おしゃれが

その内容は、他県にない独自なものになつていて全国的に注目を集めています。

是非、みんなの力で、「くまもと」という言葉自体が誇りとなるよう、そんなまちなみづくりを進めてみましょう。

あつたうていしよね。



二、三日東京に出ていて、熊本に帰つてきたら、東京とはうつてかわって春のまつただなかである。うぐいす、ひばり、なずな、たんぽぽ、すみれ、とかげ。わたしが生まれて育つたのは、東京の工場と人の家がたてこんだ場所である。バスに乗つて荒川に行けば、かえるの卵やへびいちごがあつた。それが最高の自然だつた。しかし、学校で習う歌には、「なのはな畑に入り日うすれ」や「さーし

のすみれやれんげの花に」が出てくる。どこへいってもそんなものは見当たらぬ。ところが、こうして熊本に住みついでみると、「うさぎ追いしかの山」ほどでもないにしても、「ひばり」「つくし」「かえり」「すみれ」などは、日常茶飯事であ

伊藤比呂美(詩人)

る。日常茶飯事でなかつた東京が異常だつたのだということに、わたしは気がついた。やつと。つまり歌たちはけつしていざい、「ひばり」や「つくし」はありますといふところまで、確実に荒廃するいは開発している。この開発あるいは荒廃はどんどんすんで、東京みたいになるのかならないのか、なるような気もするし、このまま猶予されて残されるような気もする。

(毎日新聞 62・3・24)